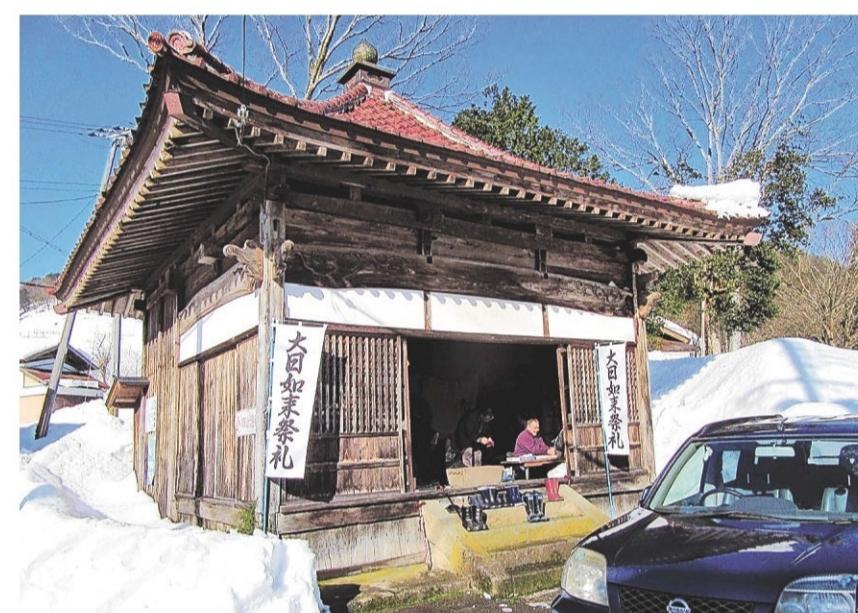


無病息災託す「大日さん」



畜産農家の信仰を集める大日如来像がある大日堂。但馬牛の安産や無病息災を祈る=香美町小代区東垣

若い頃、農家の牛舎に行くと、牛の無病息災や安産を願うお札が貼ってあった。こうしたお札を頂く「祭り」を行う神社やお堂、お寺は県内各地にあって、昔は牛を連れてお参りした所もあったとい

う。しかし、牛を飼う農家が減り、こうした習慣が残っている所も少なくなったが、香

美町小代区東垣の大日堂で続いていると聞き、行つた。

1月28日、雪は多いが晴天に恵まれ、それは行われてい

た。お札や牛に食べさせる笹

などを渡す人も、お参りに來

た人も顔なじみの農家だ。

お堂には雲や龍が彫られた

厨子があり、大日如来像が置

かれている。その前には箱に入った毛玉がある。毛玉は、

渡辺 大直

牛が体をなめた時に口に入つた毛が畳袋の中でボール状に



地域の宝

但馬牛物語

★20★

なつたもので、まれに吐き出
すことがあり、幸運を呼ぶと
言われる。

こうした習慣は牛を農耕に使つた西日本で見られ神社は牛頭天王をお祀りする所が多いが、お寺はほとんど「大日さん」で、大日如来は牛と

関わり深い仏様のようだ。
但馬牛物語には、神功皇后

たとする説もある。

が播磨国飾東郡の八重鉢山に駐屯された時、樅の山に一群の靈牛が現れ、國中の疫病を避けるとして光を放つて東方へ去ると大日如来が現れたと

言い、大日如来が現れたと
炎を願い、お守りを受ける習
慣につながつたという伝承が紹介されている。ただし、わ

が国の大日信仰は空海が真言

宗を広めた後なので、これは

後世に作られた話のようだ。

猪名川町には「島の大日さ

んの牛」という民話がある。

島村の源作爺さんの牛が病氣

になり、種々手を尽くすが治

らず痩せ細つていった。そん

な時、爺さんの夢枕に大日さ

んが立ち、寺の広場の松を3

回まわるようお告げがあつ

た。爺さんがその通りにする

と牛の病が治つた。この話が

広がつて大日さんに牛の無病

息災を願うようになり、大日

堂にある石の牛は爺さんがお

札に献じたものだという。

ほかに大日如来は農耕や運

輸の守護仏で、牛につながつたとする説もある。

また、大日講を造つて資金

を集め、順番に耕牛を導入し

た記録もあり、牛を農業のパ

ートナーとして一つ屋根の下

で家族同様に暮らす中で、こ

んな習慣が生まれたのだろ

う。

東垣のお堂には囲炉裏があり、お参りが済むと囲炉裏を囲んで甘酒を飲みながら話をする。私もその中に入れてもらつた。話はやがて牛の話題になった。ここに来るのは地元の農家がほとんどだが、他所の牛飼いも訪れるようで、情報交流の場であったのかも知れない。

さらに隣の公民館で手打ちそばやゆず湯もごちそうにな

り、牛と大日さんによる地域

文化の一端を見たような気が

した。

その日の夜中、牧場公園の

牛舎で28キロの大きな雄子牛が

無事産まれた。